

# 公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

## 1. 基本情報

評価対象年度	2015年度		
施設名	町田市大賀菫絲館		
所在地	町田市下小山田町3267番地		
施設ホームページURL			
指定管理者名	社会福祉法人 まちだ育成会	法人番号	3012305000456
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番1		
指定期間	2014年4月1日～2019年3月31日		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

## 2. 施設概要

設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、一般社会への参加の促進を図るため
設置根拠法令・条例	町田市大賀菫絲館条例
施設概要	<p>【施設概要】</p> <p>名称：町田市大賀菫絲館 敷地面積：2348.43㎡</p> <p>構造：鉄筋コンクリート造2階建て 建物面積：1064.32㎡ 施設開設年月日：1990年4月</p> <p>【事業概要】</p> <p>(1)町田市大賀菫絲館(以下「菫絲館」という。)の事業の実施に関する事</p> <p>(2)菫絲館の施設及び設備の維持管理に関する事</p> <p>(3)大賀ハス等及び紅花栽培管理に関する事</p> <p>(4)町田市所有知的財産「紅花及び乱花粉末による染色法」の維持管理に関する事</p> <p>(5)事業計画書・事業報告書の作成及び自己評価に関する事</p> <p>(6)その他市長の指定した業務</p>

## 3. 昨年度の課題

内容	使用されていない電話番号が緊急連絡先として登録されていた。 すべての職員で共有が出来ていない情報があつた。
----	--

## 4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、昨年度の課題への対応等)	<p>前年度、通信帰宅訓練を実施した際、使用されていない電話番号が緊急連絡先として登録されていることが判明した。緊急連絡先を確認・収集し、把握した上で、家族への防災伝達訓練を実施した。</p> <p>見通しが悪く危険が潜んでいた花壇を撤去し、事故を未然に防ぐ対策をとつた。</p> <p>全正規職員が法人内外の研修に一回以上参加することができ、研修報告書を作成するなど、人材育成にも取り組むことができた。また、研修報告や、会議録などをミーティングで共有したり、全職員が日誌に目を通すことを徹底した。</p> <p>地元自治会に入会し、地域の清掃やお祭りなどの活動に参加するなど地域とのつながりができた。また、自主的に毛布や水なども用意し、災害時に地域住民が避難した場合でも対応できるようにするなど地域貢献に努めている。</p>	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>通常の連絡先、災害時の連絡先等、その時々にあわせた連絡先の確認を行う事ができた。</p> <p>朝、夕のミーティングでの情報共有の他、休み明けの職員は、日誌を必ず確認することを徹底し、情報共有に努めることが出来た。</p> <p>周りを見通す事ができず危険箇所であった、花壇の撤去を行い、安全を確保する事ができた。</p> <p>桜美林台自治会に入会し、地域との連携を取り始めることが出来た。今後は、自治会の行事にも参加し、より一層連携を図っていく。</p> <p>災害時、当施設の利用者、職員だけではなく、地域の方々が避難してくることを想定し、毛布、水などを用意した。</p>	

5. サービスの質に関する評価

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用者満足度	A: 90%以上 B: 50%以上～90%未満 C: 50%未満	70%	80%	B	【調査期間】 2015年12月10日～1月5日 【配布枚数】 67枚 【回収枚数】 65枚 【回収率】 97% 【調査方法】 聞き取り及びアンケート  【評価】 第三者評価機関での聞き取りを行い、利用者にあわせた調査ができた。
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
目標値	70	70	80	80	80
実績値	95	80			
達成率	135.7%	114.3%			

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
職員対応満足度	A: 90%以上 B: 50%以上～90%未満 C: 50%未満	70%	83%	B	調査期間等は「利用者満足度」と同様。  結果は要求水準を満たしているが、利用者の不満や要望に、的確に応えられる必要がある。
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
目標値	70	70	80	80	80
実績値	81	83			
達成率	115.6%	118.6%			

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用者会議開催回数	A: 12回以上 B: 6回以上～11回以下 C: 5回以下	8回	12回	A	行事の内容など、利用者の意見を聞き、反映させる事ができている。
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
目標値	6	8	9	10	11
実績値	9	12			
達成率	150.0%	150.0%			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	全利用者を対象にした利用者調査において、利用者満足度・職員対応満足度は要求水準を満たしている。利用者会議を年12回開催し、利用者の意思を聞く場も設定しており、利用者から出た意見を活動に反映するなど意思を尊重した運営ができている。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否	判定コメント
平等利用の確保	施設の設置目的に沿ったサービスを平等に提供しているか	個別支援計画の作成	個別面談を実施し、本人の気持ちを尊重した個別支援計画を作成している	適	6月30日現地調査を実施し、利用者ごとの個別支援計画書と面談の記録を確認した。
	利用者からのモニタリングを実施しているか	年1回以上の利用者アンケートの実施 年6回以上の利用者会議の開催	第三者評価で利用者調査を実施 年12回の利用者会議を実施	適	第三者評価結果報告書を確認した。年12回の利用者会議については、会議録で確認した。
施設の運営方針・管理方針	設備機器の安全確認・保守点検	各種設備点検の実施	昇降機設備保守点検(月1回) 空調設備保守点検(年2回) 消防設備機器保守点検(年2回) 自家用電気工作物保安管理点検(2ヶ月に1回) 貯水槽清掃点検(年1回)	適	6月30日現地調査を実施し、点検結果報告書にて確認した。
	施設と法人本部の連携	年間各12回以上の経営会議・運営会議の開催	年12回の経営会議および運営会議の実施	適	6月30日現地調査を実施し、会議資料にて確認した。
自主事業	余暇活動(クラブ活動)の実施	年間10回以上の各クラブ実施	年間12回の余暇活動の実施 年3回の土曜日活動実施	適	6月30日現地調査を実施し、事業報告書、ヒアリングにより確認した。
	送迎事業の実施	希望者全員の送迎	希望者全員を送迎 2015年度:14名	適	6月30日現地調査を実施し、障害福祉サービス費等の送迎加算状況と送迎者一覧表により、送迎人数を確認した。
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規定の整備	情報公開規定を整備済	適	6月30日現地調査を実施し、情報公開規定を書面にて確認した。
	適切な取扱	施錠された書棚で保存	鍵のついた書庫で管理している	適	6月30日現地調査を実施し、規定を書面で確認した。パソコン上の個人情報を含むファイルはパスワード管理していることを確認した。
苦情対応	事故トラブルの未然防止	ヒヤリハット台帳の作成	ヒヤリハット台帳を作成し、職員ミーティングで共有すると共に、回覧をしている	適	6月30日現地調査を実施し、ヒヤリハット台帳を確認した。職員ミーティングでの共有については、業務日誌にて確認し、回覧していることも署名していたことを確認した。
	苦情対応記録	苦情報告書の作成 職員ミーティングでの共有	業務日誌及び苦情報告書に記録し、職員ミーティングで共有している	適	6月30日現地調査を実施し、苦情報告書を確認し、業務日誌で職員ミーティングで共有していることを確認した。
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練の実施(年3回以上)	年3回の実施及び年1回の宿泊訓練の実施	適	6月30日現地調査を実施し、行事記録、業務日誌、ヒアリングにより確認した。
	賠償への対応	各種保険への加入	団体総合生活補償保険・生産物賠償責任保険・受託者賠償責任保険・傷害保険に加入	適	6月30日現地調査を実施し、保険証書から加入状況を確認した。
人的安定性	職員研修	研修受講12回以上	研修13回	適	6月30日現地調査を実施し、研修報告書から受講状況を確認した。
	職員配置	法律上の人員配置基準(利用者7.5人に1人)	利用者4.2人に1人を配置	適	6月30日現地調査を実施し、シフト表から人員配置を確認した。

管理経費の縮減	管理経費の縮減	節水節電等経費の削減	光熱水費10%減 残業手当35%減	適	6月30日現地調査を実施し、確認し経営会議資料と光熱水費調査票から確認した。
	経費の適正執行	価格情報を把握し、適正な価格での購入	複数業者から見積を取り、経費削減に努めた。	適	6月30日現地調査を実施し、購入前の複数業者からの見積を確認した。
地元貢献	地域貢献	可能な限りの職場体験や実習受け入れ	9名の実習生、延393名のボランティアの受け入れを行った	適	6月30日現地調査を実施し、業務日誌から受け入れ状況を確認した。
	地域、関係機関との交流や協力	地域や関係機関との交流・協力24回以上の実施	自治会にも入会し、地域清掃を始めた地元学校や、イベントに年32回出店施設見学35団体	適	6月30日現地調査を実施し、事業報告書から交流内容について確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2014		2015		2016		2017		2018	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	99,042	99,355	101,642	92,164	104,642		107,642		110,642	
	利用料金	3,300	3,301	2,500	3,700	3,000		3,500		3,800	
	就労支援事業	15,100	15,625	16,000	23,444	16,800		17,700		18,800	
	その他	7,842	7,987	3,822	3,136	3,922		4,022		4,122	
	施設整備費	0	0	0	0	0		0		0	
	財務活動	18,000	18,000	0	0	0		0		0	
	計	143,284	144,268	123,964	122,444	128,364	0	132,864	0	137,364	0
支出	人件費	69,137	68,574	68,220	70,793	70,450		72,670		74,890	
	維持管理経費	28,510	27,050	28,405	23,589	27,995		27,850		27,850	
	就労支援事業	14,965	15,323	15,300	21,505	15,700		16,600		17,300	
	その他	29,364	29,364	10,160	11,455	10,720		11,280		11,840	
	施設整備費	550	530	0	521	0		0		0	
	財務活動	5,000	5,000	0		0		0		0	
	計	147,526	145,841	122,085	127,863	124,865	0	128,400	0	131,880	0
総計(収入-支出)	-4,242	-1,573	1,879	-5,419	3,499	0	4,464	0	5,484	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表団体を記載する。

単位: %

年度	2014	2015	2016	2017	2018
経常利益率	6.3	-50.1			
負債比率	26.3	11.7			

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	<p>2015年度において、危険箇所の修繕工事(駐車場)や、衛生管理上、必要な売店シンクの設置工事を行ったため、赤字決算となっている。また、利用者の高齢化、重度化に伴い配置基準を超えて職員を配置していることも大きな要因であるが、利用者支援に影響するため、職員削減等は難しい状況である。しかし、前期末支払資金残高が25,120千円あるため、翌年度の運営には支障がないことから決算は理事会で承認されている。</p> <p>現時点では、財政状況に問題はないと判断したが、このような状態が続かないよう、見直しを要する。</p> <p>法人本部経常利益については、前年度グループホーム資金を本部会計にて4,200万円を繰越、本年度グループホーム会計へ資金移動をおこなったため、大きくマイナスとなってしまっているが、当年度末支払資金残高はプラスとなっているため、法人全体としても問題はないと判断した。</p>